

令和5年度シラバス（1年生用）

教科	保健体育科		科目	保健	単位数	1
学年	1 年生	コース	共通			
使用教科書	現代高等保健体育					
副教材等	現代高等保健体育ノート					

1 学習目標と評価の観点の趣旨

学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。		
評価の観点の趣旨と定期考査の配点基準			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。 定期考査の配点基準（目安） 70%	健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な理解に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。 定期考査の配点基準（目安） 30%	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境作りを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

2 学習計画と評価方法

学期	単元	主な学習活動	考査範囲
1学期	現代社会と健康 ・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康	・国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていることを学習する。 ・健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを学習する。 ・健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを学習する。	期末考査

2学期	現代社会と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復 ・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 ・健康に関する意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり	・喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になることを学習する。 ・薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないことやそれらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを学習する。 ・精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要で、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを学習する。 ・感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられ、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを学習する。 ・健康の保持増進には、ヘルスポロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを学習する。	期末考査
3学期	安全な社会生活 ・事故の現状と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全 ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法	・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることを学習する。 ・交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わることを学習する。 ・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できることや応急手当には正しい手順や方法があり、速やかに行う必要があることを学習する。 ・心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことを学習する。	期末考査
各学期の観点別学習状況の評価の方法 知識・技能＝定期考査、ワークシート 思考・判断・表現＝定期考査、レポート作成、ディスカッションを用いた活動、ノート提出 主体的に学習に取り組む態度＝発表、ディスカッションを用いた活動、ノート提出 学年末の評価 各学期の成績から算出して観点別学習状況評価と評定を出します。			